

社会調査の基礎

Basic Aspects of Social Survey

1 単位 (選択) 1 年 (後期)

白山 靖彦(授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

【授業目的】 社会調査の基本的事項を理解し、社会調査に係る社会福祉士の役割を修得する。

【授業概要】 社会調査の意義・目的および方法、統計法および倫理的配慮、量・質的調査の方法に関して教授する。

【授業形式】 講義

【授業方法】 講義形式(視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる)

【授業場所】 1 年後期 金曜日 3 時限目、第 7 講義室

【授業テーマ】 [授業テーマ]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 『歯科衛生統計』(0.5)

【到達目標】

1. 社会調査の意義と目的を説明できる。
2. 基本的統計法について説明できる。
3. 社会調査における倫理について説明できる。
4. 社会調査における個人情報保護について説明できる。
5. 量的調査の方法について説明できる。
6. 質的調査の方法について説明できる。
7. 社会調査に関して IT 活用をした方法を説明できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	社会長の意義と目的	社会調査の意義と目的, 調査の対象	合理性, 非対称性	1	白山
2.	統計法	統計法の概要	統計法, 基幹統計	2	〃
3.	社会調査における倫理	調査情報の倫理的配慮	社会調査倫理綱領	3	〃
4.	社会調査における個人情報保護	調査上の個人情報保護	個人情報保護法	4	〃
5.	量的調査	全数調査・標本調査	母集団, 標本, 標本と抽出	5	〃
6.	〃	横断調査・縦断調査	コーホート	〃	〃
7.	〃	自計式調査・他計式調査	郵送, 電話調査	〃	〃
8.	〃	測定	信頼性と妥当性	〃	〃

9.	〃	質問紙の作成方法	質問紙法	〃	〃
10.	〃	調査票の配付と回収	配票, 集合	〃	〃
11.	〃	量的調査の集計と分析	変数, 統計技法	〃	〃
12.	質的調査	観察法	参与, 非参与	6	〃
13.	〃	面接法	面接法	〃	〃
14.	〃	質的調査のデータ解析	KJ 法, グラウンデッドセオリー法	〃	〃
15.	社会調査の実施に当たっての IT の活用方法	社会調査に実施にあつての IT の活用方法について	統計ソフト, インターネットとの関連	7	〃

【成績評価】 筆記試験を実施し、100 点満点で 60 点以上を合格とする。

【再試験】 必要に応じて実施する。

【教科書】 新・社会福祉士養成講座 第 5 巻 社会調査の基礎 中央法規出版

【参考書】 福祉小六法 中央法規出版

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217239>

【連絡先】

⇒ 白山 .

Basic Aspects of Social Survey

1 unit (selection) 1st-year(2nd semester)

Yasuhiko Shirayama(Manager) · PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Target) 社会調査の基本的事項を理解し、社会調査に係る社会福祉士の役割を修得する。

Outline) 社会調査の意義・目的および方法、統計法および倫理的配慮、量・質的調査の方法に関して教授する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式(視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる)

Location) 1年後期 金曜日3時限目、第7講義室

Theme) [授業テーマ]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) “Statistics for Oral Health”(0.5)

Goal)

1. 社会調査の意義と目的を説明できる。
2. 基本的統計法について説明できる。
3. 社会調査における倫理について説明できる。
4. 社会調査における個人情報保護について説明できる。
5. 量的調査の方法について説明できる。
6. 質的調査の方法について説明できる。
7. 社会調査に関してIT活用をした方法を説明できる。

Schedule)

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	社会長の意義と目的	社会調査の意義と目的, 調査の対象	合理性, 非対称性	1	白山
2.	統計法	統計法の概要	統計法, 基幹統計	2	〃
3.	社会調査における倫理	調査情報の倫理的配慮	社会調査倫理綱領	3	〃
4.	社会調査における個人情報保護	調査上の個人情報保護	個人情報保護法	4	〃
5.	量的調査	全数調査・標本調査	母集団, 標本, 標本と抽出	5	〃
6.	〃	横断調査・縦断調査	コーホート	〃	〃
7.	〃	自計式調査・他計式調査	郵送, 電話調査	〃	〃
8.	〃	測定	信頼性と妥当性	〃	〃

9.	〃	質問紙の作成方法	質問紙法	〃	〃
10.	〃	調査票の配付と回収	配票, 集合	〃	〃
11.	〃	量的調査の集計と分析	変数, 統計技法	〃	〃
12.	質的調査	観察法	参与, 非参与	6	〃
13.	〃	面接法	面接法	〃	〃
14.	〃	質的調査のデータ解析	KJ法, グラウンデッドセオリー法	〃	〃
15.	社会調査の実施に当たってのITの活用方法	社会調査に実施にあつてのITの活用方法について	統計ソフト, インターネットとの関連	7	〃

Evaluation Criteria) 筆記試験を実施し、100点満点で60点以上を合格とする。

Re-evaluation) 必要に応じて実施する。

Textbook) 新・社会福祉士養成講座 第5巻 社会調査の基礎 中央法規出版

Reference) 福祉小六法 中央法規出版

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217239>

Contact)

⇒ Shirayama .